

東葛6市が放射能測定の実施を決める 市民の声が動かしています

県知事に放射能測定の実施を求めている東葛6市市長が、「(仮称)東葛地区放射線量対策協議会」を設置しました。新聞報道では、6市共通の基準で測定等を実施すると報じています。県に要望するだけでは収まらなくなっているのです。

福島県・栃木県などにつづき、23日に埼玉県知事が、同県内の学校の校庭など100ヶ所で測定をおこなうと記者会見しました。千葉県が実施することは当然のことですが、流山市も県に丸投げでは、住民の命と健康

を守るべき自治体の責務を果たせません。

26日におこなわれる臨時議会では、放射能汚染などについて緊急質問を各会派がおこなう予定です。共産党からは小田桐議員が質問します。

5月29日、流山での放射能実態調査を実施

自分たちの目で、流山市の放射能濃度がどうなっているのか確認する機会です。10:50に東葛病院・わかば薬局駐車場に集合してください。

心ひとつに被災地を励ます 震災ボランティア・バスツアーに参加を 福島県相馬市へ

●若くて屈強な人だけでなく、女性やベテランの方も参加できます

ボランティア活動は、がれきの片づけや泥出しだけではなくありません。健康で体力に自信のある方は、相馬市のボランティアセンターの指示で活動し、女性やベテランは現地の共産党救援センターの下で、支援物資の配給や御用聞きなどの活動ができるように調整しています。また、相馬市の議員さんや被災者の方との懇談も検討しています。

ボランティアを希望する方は、現在12名。交通費

の自己負担はありませんので、食事代など一人5,000円もあれば大丈夫です。

問い合わせは、090-8567-8858(小田桐)まで。

支援物資や救援カンパ、原発反対署名が続々と寄せられています。市民レベルで姉妹都市・相馬市に20数人の規模でボランティアを派遣するのは、共産党が最初。みなさんのご協力をお願いします

●元気に宮城県石巻市でボランティア活動をやってきました

5月18～20日、小田桐たかし市議と市民の有志が、宮城県石巻市(日本共産党支援センター)へ震災ボランティアへ行ってきました。

スーパーでおなじみの鯨肉の煮付け缶詰の巨大看板も、大きく倒れ、津波で流されていました。門脇小学校は地震・津波・火事で、周辺も含め大空襲にでもあったかのような状況で、言葉も出ません。

公道から15分ほど奥まった自宅

の奥さんは、「ヘドロや壁が倒れ車が入れない。昼は自宅を片付けて、夜は避難所生活。早くこの地で生活を始めたい。ぜひ、車が以前のように入れるようにしてほしい」との訴えから、ガレキの片付けを応援しました。津波で流れ着いた2.5m高の物置やコンクリート壁を片づけ、山からの絞れ水を流す排水溝も掃除しました。



現地へ向かう途中、そして石巻市で活動する時間、帰宅へ向かう途中、全国から来た自治体車両、警察車両、自衛隊車両に出会います。民間バスも、個人車両にも『ガンパロウ石巻』『負けるな宮城』・・・ステッカーが目立ちます。『22日に元気に再オープン』と張り出し清掃する店舗、セブンイレブンは駐車場で開店

しています。吉野家も24時間営業を始めました。空き地では子どもがサッカーをして、元気な声が響きます。

復興へ確実な一步を踏み出しています。ただ、夏までの間、被災者の心身の疲労の蓄積は、深刻です。全国からの支援の輪が、さらに広がるようお願いしつつ、6月にも福島県相馬へ向かいます。

市議会議員 小田桐たかし